

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ対立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成26年12月12日 NO.66 (166)

オー君 「ねえ、花ちゃん。今年^{ことし}は馬年^{うまどし}だよ。でも、どうして馬^{うま}なの？」

花ちゃん 「そんなの決^きまっているでしょ。去年^{きょねん}が巳年^{みどし}(へび)だったでしょ。だから、順番^{じゅんばん}で今年^{ことし}は馬年^{うまどし}よ。そして、来年^{らいねん}はひつじ年^{どし}ね。」

オー君 「ちょっと、ちょっとちょっと。そんなにかんたんに答^{こた}えないでよ。ぼくが知^しりたいのは、どうして動物^{どうぶつ}を使^{つか}って年^{とし}を決^きめるかということさ。ひつじ年^{どし}があれば、ライオン年^{どし}とか、キリン年^{どし}とかあってもいいんじゃないのかな。へび年^{どし}があるなら、トカゲ年^{どし}なんかあっても楽しいのになあ。」

花ちゃん 「ちょっと、ちょっとちょっと。キリン年^{どし}とか、トカゲ年^{どし}なんてないわよ。」

モンタ博士 「まあまあまあ、しずかにしずかにね。何^{なに}をそんなに言^いいあらそっているの。」

オー君 「だって、花ちゃんがわかんないこと言^いうんだもん。」

花ちゃん 「だって、オー君^{じゅうにし}が十二支^{じゅうにし}についてめちやくちや言^いうんだもん。」

モンタ博士 「そうか。十二支^{じゅうにし}についてのお話^{はなし}だね。花ちゃんは、十二支^{じゅうにし}ぜんぶ言^いえるの。」

花ちゃん 「ね(子)、うし(丑)、とら(寅)、う(兔)、たつ(辰)、み(巳)、うま(午)、ひつじ(未)、さる(申)、とり(酉)、いぬ(戌)、い(夷)の12ですね。」

オー君 「え!何^{なん}だよ。今^{いま}のは?ひょっとして宇宙人^{うちゅうじん}語^ごかよ。」

モンタ博士 「花ちゃんはよく知^しってるね。感心^{かんしん}だね。本当^{ほんとう}は、五行^{ごぎょう}、十干^{じっかん}、十二支^{じゅうにし}というんだけど、まあ、むずかしいお話^{はなし}はやめといて、何^{なん}でこんなものがあるか知^しってるかな？」

オー君 「ぼくは、ちんぷんかんぷんだ。」

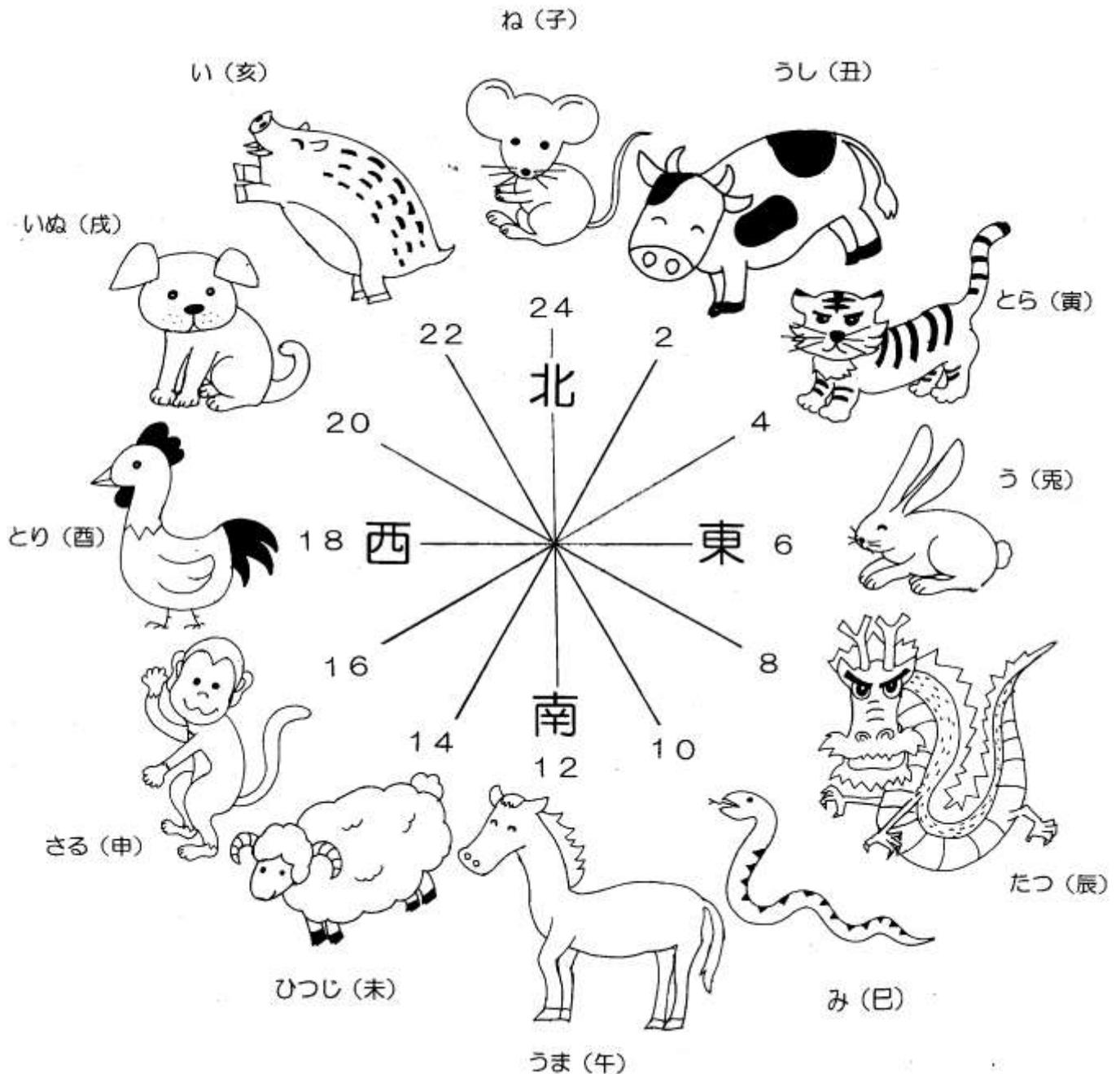
モンタ博士 「あのね、12支^しというのは、昔^{むかし}の中国^{ちゅうごく}で作^{つく}られたのさ。今^{いま}みたいに、ちゃんとした暦^{こよみ}がないころ、年^{とし}、月^{つき}、時^じこく、方角^{ほうかく}をあらわしたのさ。」

花ちゃん 「そうなの。そうなの。12の動物^{どうぶつ}が順番^{じゅんばん}にならんでいるのよ。」

モンタ博士 「まあまあ、むずかしいお話^{はなし}よりも、楽^{たの}しく十二支^{じゅうにし}のぬりえでもしようよ。

それから、このさい、『ね・うし・とら・う・たつ・み・うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い』と、覚^{おぼ}えてしまおうよ。校^{こう}長^{ちょう}先生^{せんせい}にお願い^{ねが}して『検定^{けんてい}』をやってもらふことにしよう！」

12支:昔の時こくと方角など



12支の検定について

一般社会人の常識として、12支を諳んじることが必要であると思います。そこで、今回、中休み・昼休み・放課後のいずれでもOKですので、検定を実施したいと思います。「ね・うし・とら・う・たつ・み・うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い」と唱えることができれば合格とします。合格した人には、国立第七小学校特製の『12支合格証』を差し上げます。皆さん奮って検定を受けに来て下さい。お待ちしております。この検定は、何度チャレンジしてもOKです。全部覚えることができるまでがんばりましょう。

お化けは何時ころにでるのかな？

「草木も眠る丑3つ時…ヒュルヒュルヒュル・ドロドロドロ」とお化けはでてくるものらしい。そこで、疑問が生じた。「丑3つ時」とは、はたして今の時刻で言うと、何時頃になるのだろうか？困ったので、広辞苑で調べると、真夜中の2時から2時半ころとなっている。丑が2時なら、「3つ時」とは？これまた疑問が残る。そこで、三鷹の国立天文台に電話して聞いてみた。すると、答はこうだ。昔の丑の時刻とは、午前1時から3時ころまでを指すとのことで、かなりアバウトだ。となると、30分刻みで考えていくと合点がいく。なぞは解けた。お化けがでる時刻もはっきりとわかった。でも、お化けがいるかどうかの謎はまだ残る。いずれにしても真夜中の2時から2時半ころは要注意だ。